

暑さから牛を守れ!! 牛舎内でスモークを使用し、気流の可視化を実施

令和6年9月：動物科学科

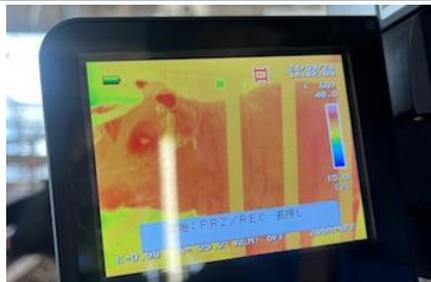
昨年度、「株式会社ソーワテクニカ」様より、送風機を2台贈呈いただきました。2名来校いただき、牛舎でスモークを使用して気流の可視化し、送風機の位置、角度の調整をしました。



本校牛舎にて

送風機コントローラーは「80」で動かした方が、「100」で動かすより牛房内のスモークの流れが良く、電気代がおよそ半分になるというのが意外な結果でした。

拡大!!



体表温度が高い肥育牛は天井ファンの真下におり、
体表温度がそれほど高くない肥育牛は天井ファンの真下にはいませんでした。



サーモグラフィカメラで確認

本校は1つの牛舎で繁殖牛房と肥育牛房がある構造です。そのため、5つ温湿度計（繁殖牛房（2つ）、通路（1つ）、肥育牛房（2つ））を設置し、調査をしています。繁殖牛房は温度が高く、湿度が低い。肥育牛房の外の通路に、水を散布しているため、温度は低いものの湿度が高くなる傾向があります。「残暑が厳しく、秋も暑くなる見込み」と報道されています。企業と連携し、牛の暑熱対策を考えたのは初めてで、学びあるよい機会になりました。今後も頑張っってやっていきたいと思ひます。